

No.99	事業名	子どもの野生復帰事業	24年度 予算額	12,596 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

現在豊岡の子どもたちは、生活様式の変化などから自然との触れあいが不足している。

より多くの自然体験を行った子どもは、自立心や社会性が育まれ、正義感、道徳観が養われるといわれており、自然豊かな豊岡の地で野外活動や自然体験をすることは、郷土を愛するこころ豊かな子どもの育成につながる。

そこで「子どもの野生復帰大作戦」を継続実施することで、仲間づくりの元気な核となるたくましい子どもを育むとともに、その親や地域住民と連携し、楽しさや活動意義などを広く市民に周知を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

##### ①キッズワイルド2012（通年、委託実施）

ア 委託先 竹野スノーケルセンター運営協議会

イ 委託内容 ・子ども向けプラン（テーマに特化した通年型の3コース、各60名募集）

「ふるさと生き生き探検（地域文化）」「生物多様性（入門）」

「くらしの技（生きる知恵）」

・親子向けプラン（40家族募集）

・リーダー養成プラン（新規20名）

野生復帰大作戦の指導者養成プラン

現在活動中のリーダーのスキルアップのためのプログラムを市内

各地で実施し、即戦力となる人材を発掘する。

・事業実施報告書の作成

##### ②野外キャンプ 親子を対象にした一泊キャンプ

##### ③FMジャングル番組放送 「応援します！元気なとよおかチルドレン」番組放送

#### (2) 事業期間

平成24年度～

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

12,596 千円

#### (2) 事業内容

①キッズワイルド2012 12,016 千円 ②野外キャンプ 97 千円

③子どもの野生復帰幼稚園等研修 50 千円 ④FMジャングル番組放送 375 千円

⑤啓発活動他 58 千円

担当課名【生涯学習課】（内線 2740）

施策体系番号 4-1-4

No.100	事業名	人権教育推進員の配置	24年度 予算額	136 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	------------	-------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市の人権教育・啓発は、市内6地域それぞれの歴史的背景や経過から、重点的に取り組む分野が異なっているため、地域での人権に関する様々なニーズ・発達段階・習熟度に応じた学習機会を提供する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市人権教育推進協議会との連携のもと、市教委から委嘱した5人の人権教育推進員により、市内各地で開催される人権研修や学習会の機会に講話等の活動を行い、人権意識の向上に努める。

(2) 事業期間

平成24年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

136千円

担当課名【生涯学習課】（内線2744）

施策体系番号 5-1-1

No.101 事業名 植村直己冒険館の自主事業	24年度 予算額	4,310 千円 (4,033)	新規 拡大 継続
-------------------------	-------------	------------------------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

植村直己が夢の実現のために大自然を相手に行動したように、自分自身へ挑戦し続ける自立した人づくり、協働の精神を継承する顕彰活動を展開し、植村の心の継承と元気なチャレンジャーを応援する事業を展開する。さらに第53次南極地域観測隊派遣に伴う南極事業を開催することで、隊員が体で感じる南極を直接子どもたちに紹介し、夢と自然の大切さを伝える。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内容

- ①企画展 「夢と冒険」、「メモリアル展」
- ②特別展 「植村直己冒険賞受賞者展」、「職員南極へ行く展」、「冒険者紹介展」、「冒険館に立ち寄った旅人展」
- ③特別事業 「富士山登山」
- ④南極観測隊関連事業【新規】
  - ア「南極授業」・昭和基地交信授業 2回  
(テレビ会議システムによる宮下隊員直接交信)
  - ・南極出前授業 8箇所程度  
(南極地域観測隊越冬隊経験者による南極授業)
  - イ「南極昭和基地ライブ映像の放映」
  - ウ「その他」・宮下隊員活動紹介コーナーの設置
  - ・南極新聞(対象小中学生)の発行
  - ・南極座談会の開催
- ⑤「植村直己に学ぶ」野外活動実行委員会(サバイバル体験事業)への補助

#### (2) 事業期間

平成24年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

4,033千円

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

南極観測隊関連事業【新規】

昭和基地交信授業 開催場所(予定) 城崎小学校(国立極地研究所指定)  
市民会館(市内小学5年生対象)

担当課名【生涯学習課 植村直己冒険館】(TEL44-1515)

施策体系番号 5-1-2

No.102	事業名 植村直己冒険賞	24年度 予算額	5,535 千円	新規 拡大 継続
--------	-------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

日本を代表する世界的な冒険家である故植村直己氏の精神を継承し、周到に用意された計画に基づき、不撓不屈の精神によって未知の世界を切り拓くとともに、人々に夢と希望そして勇気を与えてくれた創造的な行動（業績）について1人（1グループ）を選考し表彰する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ①2011「植村直己冒険賞」表彰式及び講演会 6月上旬
- ②2012「植村直己冒険賞」の選考 9月～2月初旬
- ③2012「植村直己冒険賞」受賞者記者発表 平成25年2月
- ④冒険賞受賞者が学校等に出向く交流事業（ミニ講演等）10月～11月

#### (2) 事業期間

平成24年度

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

5,535千円

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

記者発表会場 東京会場（明治大学）と豊岡会場（府中小学校）  
植村直己冒険館事業費（別科目）の中で、受賞者を紹介する特別展を開催する。

No.103 事業名 モンゴルとの交流	24年度 予算額	2,828 千円	新規 拡大 継続
---------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

モンゴル国と豊岡市の両中学生が交互に両国を友好訪問し、自然体験やホームステイなどを通じて異文化を体験し、お互いに尊重しあえる豊かな心を育てるとともに、国際化社会に対応し得る人材の育成を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ① 豊岡市内在住の中学生7名、大人3名からなる「第10回モンゴル友好訪問団」をモンゴル国に派遣する。
- ② 派遣期間は8日間を予定、その間に自然体験学習、ホームステイ、両国中学生の交流を図る。
- ③ 参加した生徒に発表の場を設け、今回の研修の成果を市内の子どもたちに還元する。

#### (2) 事業期間

平成24年8月3日（金）～8月10日（金） 予定

#### (3) 事業主体

豊岡市

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

2,828千円（参加者負担金 700千円：100千円／1名）

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成5年度からモンゴル国と豊岡市（旧但東町含む）は、隔年毎に相互交流を行っている。平成18年度以降は、特に中学生を中心とした子ども達の文化交流を推進している。

担当課名【文化振興課（日本・モンゴル民族博物館）】（TEL56-1000）

施策体系番号 4-2-2

No.104	事業名	仲田光成記念全国かな書展 の開催	24年度 予算額	6,084 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	---------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

旧竹野町出身の書家 仲田光成は、皇室の指導にも永く携わり、本市にも多数の作品を寄贈している。同氏の偉業を顕彰するとともに、日本の伝統文化である書道を介して地域内外の交流を図り、地域文化の高揚と心豊かな地域づくりを全国に発信するため、第12回仲田光成記念全国かな書展を開催する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ①対 象 全国から募集
- ②部 門 7部門（幼、小学生低・中・高学年、中学生、高校生、一般）
- ③募集受付 作品募集 5月～ 作品受付 9月3日（月）～7日（金）
- ④審 査 9月 1次・2次審査
- ⑤賞 文部科学大臣賞、仲田光成記念賞、兵庫県知事賞、兵庫県教育委員会賞、神戸新聞社賞、但馬文化協会会長賞、豊岡市長賞、豊岡市議会会長賞、豊岡市教育委員会賞、特選、入選（予定）
- ⑥展示会場 市立総合体育館
- ⑦表彰式会場 じばさん但馬 多目的ホール

#### (2) 事業期間

- ①展 示 平成24年11月30日（金）～12月2日（日）予定
- ②表 彰 式 平成24年12月2日（日）予定

#### (3) 事業主体

豊岡市・仲田光成記念豊岡全国かな書展実行委員会

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

6,084千円（出品料収 2,390千円見込み）

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ①応募実績 平成23年度実績 6,017点 （27都府県）
- ②展示実績 平成23年度実績 4,518点
- ③展示入場者数 平成23年度実績 約2,900人

担当課名【竹野総合支所・地域振興課】（内線5205）

施策体系番号 5-1-2

No.105	事業名	東井義雄の心を伝える推進事業	24年度 予算額	358 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	----------------	-------------	--------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

教育者 東井義雄の教育理念は、「子どもの感じ方、考え方、行い方」を、子どものいのちの具体的な表現ととらえ、そこに子どもの人間性や独自性を感じとらせ、この「子どもの感じ方、考え方、行い方」を磨き育てようとする考え方である。

この不易な教育理念を、現在の教育実践に生かしていくことを目的として実施する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容 (H24年度)

①「東井教育のところに学ぶフォーラム」・・【平成23年度～平成24年度】

ア 教育実践の発表とフォーラムの実施

テーマ：東井教育のところに学ぶ教育

内 容：教育実践の報告、ディスカッションなど

②「東井義雄の心を伝える」推進事業補助金・・【平成22年度～平成24年度】

ア 東井教育継承団体である「白もくれんの会」が実施する下記事業への補助金

「東井義雄教育」出前講座等

#### (2) 事業期間

平成22年度から平成24年度まで

#### (3) 事業主体

豊岡市・豊岡市教育委員会

#### (4) 全体予算

1,612千円

### 3 24年度予算

#### (1) 予算額

358千円

<内訳>

①東井教育のところに学ぶフォーラム 182千円

②「東井義雄の心を伝える」推進事業補助金 176千円

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

【平成22年度実施内容】

①「東井義雄教育」の研修 ・教育講演会の開催 市内教職員対象

② 白もくれん文庫 ・東井義雄の書籍を市内の小・中学校に配置。

【平成23年度実施内容】

豊岡市教育フォーラム実施（東井義雄ところに学ぶフォーラム）

実施日 8月25日（木） 会場 豊岡市民会館、参加人数 252名、

講演「子どもたちに寄り添った教育実践について考える」・教育実践報告

担当課名【東井義雄のところに学ぶフォーラム こども教育課】（内線2727）

【東井義雄の心を伝える推進事業補助金 文化振興課】（内線2777）

施策体系番号 4-1-2

No.106	事業名	森田子龍 生誕100年記念展覧会の開催	24年度 予算額	1,325 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	------------------------	-------------	----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

豊岡市出身の書家、故森田子龍が本年生誕100年を迎えることを記念して展覧会を開催し、広く作品を公開するとともに氏の歩みを顕彰することで芸術文化の振興を図る。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

- ① 会 場 兵庫県立円山川公苑美術館（豊岡市小島1163）
- ② 観覧時間 午前9時～午後5時
- ③ 観覧料 無料
- ④ 主な内容

#### ア 展示作品

- ・作品総数 約40点（豊岡市及び円山川公苑美術館所蔵作品）
- ・墨人会会員作品 十数点（未定）

#### イ オープニングセレモニー（テーブルカット）の実施

#### ウ 生誕100年記念展 記念図録発行（会期中に販売）

(2) 事業期間 平成24年10月下旬～12月初旬

(3) 事業主体 豊岡市・豊岡市教育委員会、兵庫県立円山川公苑、豊岡市文化協会

### 3 24年度予算

(1) 予算額 1,325千円

担当課名【文化振興課】（内線2777）

施策体系番号5-1-2

#### 【参考】森田子龍略歴

- 1912年 兵庫県豊岡市に生まれる。
- 1937年 上田桑鳩門に入り、東京に移る。第2回大日本書道院にて推薦金賞（最高賞）を受賞。
- 1938年 日満支書道展にて文部大臣賞受賞。
- 1948年 雑誌『書之美』を創刊。1952年まで刊行。
- 1950年 京都にて、京大教授の井上勉、久松真一の指導を仰ぐ。
- 1951年 雑誌『墨美』を創刊。
- 1952年 井上有一らとともに墨人会を創立。雑誌『墨人』を創刊。
- 1953年 サロン・ド・オクトーブルに招待出品、海外へ初出品となる。  
以後、各地の国際展へ多数出品・受賞して東西文化の交流に尽くし、多角評価されている。
- 1968年 NHKの「婦人百科」で書道を担当。
- 1978年 京都府より美術工芸功労者として表彰を受ける。
- 1980年 京都市より文化功労者として表彰を受ける。
- 1995年 兵庫県文化賞を受賞。
- 1998年 12月1日、大津の自宅にて逝去。86歳
- 2000年 紺綬褒章受章。

No.107	事業名 文化財保護事業	24年度 予算額	37,235 千円	新規 拡大 継続
--------	-------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

国民共有の歴史遺産である文化財の保護を図るために、これらの保存修理を行う。また、保存修理によって文化財的価値が保全されるとともに広く利活用する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

##### ① 日出神社本殿保存修理（国庫補助事業）

国重要文化財（建造物）である日出神社本殿の柿（こけら）葺屋根葺き替え等にかかる費用に対し、随伴補助をする。

##### ② 旧中和家住宅の保存管理と国登録申請に向けての調査

平成 23 年度中に無償譲渡を受ける旧中和家住宅を公開活用に向けて管理し、国登録文化財に向けた取り組みを進める。

##### ③ 足軽住居（武家長屋資料館）の保存改修

武家長屋資料館を保存整備し、足軽住居として保全する。

##### ④ 出石焼徳利窯の保全

出石徳利窯の三次元測量データを図化するとともに、保全を図る。

#### (2) 事業期間

① 平成 24～25 年度

②③ 平成 24 年度

④ 平成 23～24 年度

#### (3) 事業主体

① 保存修理事業主体は所有者（宗）日出神社

②③④ 豊岡市

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

39,740 千円

<内訳>

① 1,120 千円（事業費：22,400 千円 国 85%・県 5%・市 5%・所有者 5%）

② 1,185 千円

③ 33,500 千円（国 50%）

④ 3,935 千円

### 3 24 年度予算

#### (1) 予算額

37,235 千円

<内訳>

① 日出神社本殿保存修理補助金 250 千円（事業費 5,000 千円）

② 旧中和家住宅管理費 1,185 千円

③ 足軽住居保存修理費 33,500 千円

④ 出石焼徳利窯のデータ図化と保全事業 2,300 千円

担当課名【文化振興課】（内線 2773）

No.108	事業名	伝統的建造物群保存地区 保存事業	24年度 予算額	35,808 千円	新規 拡大 継続
--------	-----	---------------------	-------------	-----------	----------------

### 1 事業目的（趣旨）

国選定文化財（重要伝統的建造物群保存地区）である出石伝統的建造物群保存地区の歴史的な町並みを保存し、地域アイデンティティの一層の向上を図る。

また、出石城下町地区の地域的魅力を向上させることにより、観光客の増加、地域経済の活性化に資する。

### 2 全体の事業内容

#### (1) 内 容

平成 19 年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことにより、国県の技術的指導、経済的支援を受け、伝統的建造物の修理工事及びその他の建築物の修景工事（外観を周囲の歴史的景観に調和させる工事）に対し助成する。

#### (2) 事業期間

平成 20 年 4 月 1 日～

#### (3) 事業主体

豊岡市（修理・修景工事の事業主体は各所有者）

#### (4) 全体事業費（補助率・負担率等）

##### ①伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金

ア 対象範囲：豊岡市出石伝統的建造物群保存地区内（23.1ha）

イ 伝統的建造物の修理補助：対象経費の 80%、上限 800 万円  
（うち国 1/2、県 1/4、市 1/4 負担）

ウ その他の建築物の修景補助：対象経費の 60%、上限 600 万円  
（うち国 1/2、県 1/4、市 1/4 負担）

### 3 24 年度予算及び事業内容

#### (1) 予算額 35,808 千円

<内訳>

①伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金 33,633 千円

・伝統的建造物の修理工事（5 件）、その他の建築物の修景工事（1 件）

②委託業務（市単独費） 1,340 千円

・国庫補助申請修理修景物件事前調査業務  
・追加伝統的建造物図面カルテ作成業務

③その他事務費等 835 千円

### 4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

①「伝統的建造物」 建築物 246 棟・工作物 23 件（その他環境物件 11 件）

②補助金交付実績

年度	H20	H21	H22	H23	合計
修理件数	4	5	7	5	21

③補助金を交付しない建築行為に対しても一定の規制をかけることで、歴史的景観の維持を担保する。